

公開講演会

入場
無料

一般公開同時開催

令和
元年 **10月5日** **土**

会場 **森林総合研究所東北支所 大会議室**

盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25 TEL 019-641-2150
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk>

10:20
▼
10:40

樹木の根の話 ―地下に隠れた意外な姿―

東北支所 野口 享太郎

樹木の根が土から水や養分を吸収する機能を持つことはよく知られていますが、実はそれ以外にも、土に有機物を供給したり、きのこに栄養を送ったりするなど、地下の生態系を支える役割も担っています。このような樹木の根の様々な機能について、最近の研究を交えてご紹介します。



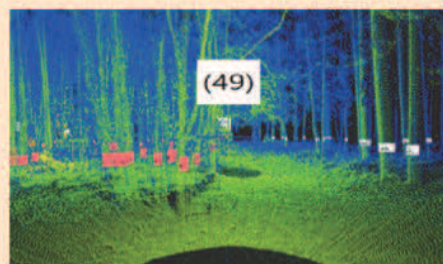
枝分かれするスギの根

10:40
▼
11:00

ドローンと地上レーザスキャナーで森を計る

東北支所 小谷 英司

森は人間よりもずっと大きく、森は山で広大な面積を覆っているために、「森を計る」事はなかなか大変な作業です。最近、ドローンと地上レーザスキャナーで、手軽に森が計れるようになってきましたので、技術の現状を紹介します。



地上レーザで林内歩行を疑似体験

13:00
▼
13:20

木の年輪に刻まれた過去の気候や森林被害

東北支所 梶本 卓也

木が毎年太ると年輪ができます。これを手がかりにすると、昔の気候変化や、森林が台風・大雪などで被害を受けた時期が正確にわかります。この便利な“イベント記録装置”の年輪を利用した研究を紹介します。



雪崩で倒れた木

13:20
▼
13:40

種から始まる森づくり ―品種改良の現場から―

林木育種センター東北育種場 矢野 慶介

人類は様々な植物を栽培し利用していますが、そのほとんどで品種改良が行われ、より利用しやすく改良してきました。東北育種場では、よりよい森づくりのために造林用樹木の品種改良を進めており、花粉の少ないスギなどの品種開発を行っています。今回は、当育種場で進めている品種開発を紹介します。



花粉の多いスギ(左)と少ないスギ(右)